

http://www.minamih.net/



12・4・30(月)
南NEWS NO 5



4月28日(土)
の午後0時から5
・6年生は文化大
Gに土や砂を入れて
て整地に汗を流し
ました。J rユース
1年生も一緒に
作業してくれて、

石を除去して良いコンディションにすることができました。

アイスで休憩した後、6年対J rユース、6年対5年のゲームでお互いに切磋琢磨。力をつけています。ふれあいの輪が広がり、次の日、これからは楽しみになる、小学生と中学生の交流でした。J rユースの1年生、ありがとう！！



3年生春季カップ 赤チーム 2012.4.22(日) 秋葉台小

○<チームのめあて>

- 1)アプローチのスピードを速くする。
- 2)技を使って相手にぶつけないドリブル。
- 3)囲んでボールを奪う。(ドッチング)

○<達成度>

- ・アプローチは全体的にがんばっていましたが、所々ボールを簡単に蹴らせていることがありました。
- ・技を使ったぶつけないドリブルについては、V字、アウトイン、マッシュズ等がんばっていましたが、まだぶつけてしまうことが多かったと思います。
- ・囲んでボールを奪うについては、みんな意識していたと思います。必ず1人に任せるのではなく、2人、3人とフォローに入っていました。

○南八王子0-3小宮CS-T 前半:0-1

試合開始から一進一退の戦いとなりました。

南の選手はサイド、中央と色々なところからドリブル突破を試みますが、相手ディフェンダーに阻まれなかなかシュートまで行くことができませんでした。それでも相手にボールが渡ると、数人ですぐに囲み、相手選手を自由にさせていませんでした。

しかし前半9分、左サイドで相手からボールを奪いドリブルで持ち上がろうとしたところを、再度ペナルティエリア内でボールを奪われそのままシュートを打たれてしまいます。このまま0-1で前半が終了。

後半に入っても前半同様に一進一退となりますが、4分に右サイドを相手にドリブルで突破され失点。更に12分にはフリーキックから直接決められ0-3と突き放されます。

最後までにあきらめずにがんばってドリブルで攻めあがりましたが、決定的なシュートまで行けず、残念ながら0-3で負けてしまいました。

今回の試合では、ドリブルやアプローチを皆が一生懸命チャレンジしていたと思います。しかし、まだドリブルはぶつけてしまうことが多く、アプローチも遅れてしまうところがあります。

技を使って相手にぶつけないドリブル、相手を自由にさせない早いアプローチをもっと意識して、これからは練習をガンバリましょう！

b y 能登コーチ

第36回全日本少年サッカー大会東京都12B予選 6年生 1次リーグ突破！！

4月29日 文化大G

朝8時から子ども達は昨日に引き続き、砂や土をグラウンドに入れて、石を拾い、掘り出して、ピッチの状態を少しでも良くしようとGAMBARIしました。自らの力で良いコンディションにしたピッチで子ども達は最初の目的を達成しました。

第1試合 ○めあて ①コーチング ②アジリティ ③突破をねらう

○南八王子2-0プリメイロス 前半1-0 得点 小林君2

前半10分過ぎ、見方からのクロスを栗橋君が左の小林君にヘッドでつなぎ、フリーで受けた小林君はGKとI対I。冷静に左に流し込んで先制。

後半南のキックオフから栗橋君がドリブルで3人抜いて駆け上がると、左サイドの小林君が大きな声でボールを要求し、栗橋→小林へのスルーパスで抜け出した小林君がGKの右サイドに流し込み2点目。

その後、南のドリブル突破は威力を発揮して相手を圧倒する内にタイムアップ！

第2試合 ○めあて ①コーチング ②渡り廊下 ③コンビネーションプレー

○南八王子4-1リトルウィング 前半2-0 得点 小林君2 平山君2

前半11分、ペナルティエリア内にドリブルで切れ込んだ小林君が倒されてPK。平山君がインサイドでGKの右サイドを低いライナーで抜いて先制！その後12分、平山君のドリブル突破から左サイドの小林君にスルーパス。小林君がGkをかわして無人のゴールへ流し込み2点目。

後半。8分、GK阿部君へのバックパスを相手にカットされて失点。しかし3分後、相手ペナルティエリア前での横パスを小林君がカットしてそのままシュートで3点目。16分、ハーフライン付近から平山君がドリブル突破！相手を数人かわして右足でシュート。GKはドリブルで引き出されていたので無人のゴールへクリーンシュート！4点目。

○めあての達成

- ・**コーチング** もっとできればより強いサッカー、楽しいサッカーができる！！
- ・**アジリティ** 1試合目は数的優位を保つことができたのでアジリティは花丸！
2試合目は暑さと疲れのためか、徹底できなかった。

・**突破をねらう** 素晴らしかった！南のドリブルサッカー復活を思わせた。でも、もっと自分のもっている力を発揮してほしい。

- ・**渡り廊下** 2試合とも、渡り廊下をよく使い、サイドからの攻撃ができた。
- ・**コンビネーションプレー** 平山君が栗橋君に預けてスペースに走り込んでリターンをもらおうという中央でのワンツー突破をトライする場面も観られた。栗橋君の第1線を追い越していく第2線ハーフの動きも活発だった。しかし、第3の動き、オーバーラップなど、もっとチャレンジしてほしい！！

○課題 ①コーチングの徹底 小林君のようにボールをもらいたいときの声。

②2試合目、第1ディフェンダーが不用意に飛び込んで一発で抜かれる場面が多かった。ディレイ、ジョッキー(相手のドリブルをコーンとロールする)で対応したい。第2ディフェンダーや周りの声・コーチングがほしい。

③相手GKのパンツキックやゴールキックへのバックラインの対応。アドバンテージを確保しよう。



江東区から駆けつけてくれたおばあちゃん、お家の人達、たくさんの方が応援してくださり、朝からのグラウンド整備や会場準備まで、有り難うございました。

みなさんと子ども達、コーチのみなさんのGAMBARIのコラボで、全員出場で1次突破を達成することができました。

次は5月3日！！もっともっと君達はやれるよ！！

b y 南のアンパンマン